

月報 白樺

ALPINE CLUB / WHITEBIRCH NAGANO

7月の活動予定

7月6日(火) 第一例会

7月2・3日(金・土) 甲斐駒ヶ岳

七丈小屋泊

CL:

7月18・19日(日・月) 将棋頭山・木曾駒ヶ岳

駒ヶ岳頂上山荘泊

CL:

7月24or25日(土 or 日) 火打山

CL:

8月の活動予定

8月4日(火) 第一例会

8月5日(木) 物見岩朝練習終了

8月6・7日(金・土) 白馬・唐松岳

天狗山荘泊

CL:

8月21・22日(土・日) 西穂高岳

CL:

4・5月の活動報告

5月31日(月) 栗ヶ岳・袴腰山

天候:快晴

参加者:

姫小百合咲く“あわがたけ”標高1,300メートル弱のゆるやかな三角の山、山名と写真のイメージから猛々しい山との思いは全く持たなかった。加茂市ビジターセンターには予定より早めに到着。数台の車とテント泊を楽しんでいる人も見られた。

10分程林道を歩いて第2貯水池の堰堤を渡り登山道に入る。登山口にはNo.1の標識があり緩やかな登りをNo.2まで進むと道は急登となった。樹林帯で日射しは避けられたが足元は粘土質で下りと思うと心配になる。No.4を過ぎて大柵平からは田植えの終わった越後



平野、春に登った角田山、弥彦山、遠く佐渡ヶ島が見渡せ、行く手には栗ヶ岳北峰、奥に中ノ峰が待っている。No.5からは梯子、鎖が続く。登山道はヤセ尾根に変わり岩場となる。No.6の鞍部で5輪程の姫小百合と出会う。なんとも可憐で美しい。No.7の砥沢峰には立派な栗ヶ岳ヒュッテがあり、備え付けのテーブルで一休み。

栗ヶ岳北峰が間近となる。山頂に近づくとつれ薔を着けた姫小百合が登山道脇に群生。開花していたらと思うと残念。花と出会う難しさを痛感した。そんな姫小百合を、前方を進む猿軍団が食い散らかしながら去って行った。なんと可哀そうな!

北峰への急登の両脇は大小様々に薔を着けた姫小百合でストックが使えない程だ。中ノ峰を過ぎ本峰へ、大展望が待っていた。守門岳・浅草岳には残雪があり御神楽岳が美しい。下方には、これから訪ねる袴腰山がある。



山頂で出会った登山者の話では「今年は、姫小百合の薔が虫に食べられ、例年よりかなり花が少ない」との事。淡い期待を抱いて下山開始。こんなに大変な急登だったかと思

い返しつづ怪我をしない様に慎重に下る。2時間半で駐車場に到着した。その後、袴腰山へ登るため八木ヶ鼻駐車場へ移動した。駐車場から見上げる八木ヶ鼻はダイナミックな岩だった。その右後方に栗ヶ岳の美しい姿が見える。予定時刻を大幅に過ぎていたため、体調とコースタイムを確認して出発。八木ヶ鼻神社裏のうっそうとした杉林を抜け、追分ノ松にて再び諸々の確認をした。その後は前進のみ。三角山からはすぐ前方に、これま



たきれいな三角の袴腰山があった。静かな山頂を踏み早々に下山開始。

西方が海なので太陽を遮るものが無く、夕方とはいえとても明るい。高城跡からは遊歩道として整備された歩き易い道だった。表参道入口駐車場に下山し、道路をしばらく歩いて八木ヶ鼻駐車場に無事到着。長い山行を終えた。袴腰山の姫小百合は、咲き終えたり、虫の被害にあったりと、出会えた花は僅かだった。

長野 4:30 — 加茂市ビジターセンターP 7:10/7:30 — 1合目 8:00 — 粟ヶ岳ヒュッテ 10:18 — 山頂 11:35/12:05 — 粟ヶ岳ヒュッテ 12:48 — 1合目 14:30 — ビジターセンターP 14:45/15:00
八木ヶ鼻P 15:45 — 三角山 16:45 — 袴腰山 17:10 — 高城跡 17:50 — 表参道P 18:40 — 八木ヶ鼻P 19:20 — 長野 22:10

6月6日(日) 神奈山

参加者:
天気:曇り

今日はシラネアオイを見に神奈山へ。私の中では神奈山のシラネアオイが一番だ。

関温泉の駐車スペースに着くと既に県外ナンバーの車が数台。遠くからご苦労様です。スキー場のゲレンデを登っていき(ワラビがちらほら・・)最終リフトで休憩する。野尻湖がよく見える。ここが登山道の入り口で、少し歩くとツバメオモトロロードが始まった。このあたりのサンカヨウは終わっていたが、まだ実にはなっていないのでこの先にきっと咲いているはず、と思っていたら、サンカヨウロードが待っていた。アカモノ、イワカガミ、ムラサキヤシオ、フデリンドウ、もちろんシラネアオイも。この先ところどころ花が途切れる事もあるけれど、山頂まで花、花、花が続く。

へつりは滑りやすいので慎重に、その先は雪が残っていたので右側の笹藪に行く。オオブナ林を過ぎると急登が始まる。ここまでも滑り



やすい所がたくさんあり下りが思いやられる。八方睨みからも急登が続く。あそこに見えるのが山頂? いやいやまだ先!

山頂でもシラネアオイがお出迎えしてくれた。ここからも妙高山は見えるが、少し先に行った方が妙高山・火打山がよく見え、シラネアオイも多いのでそちらでお昼にする。ここで大失敗。シラネアオイや妙高の素晴らしさに気を取られて山頂で写真を撮るのを忘れてしまった!

下りは滑らないよう気をつけて春の恵みもいただきながら下った。花があるのが当たり前になってしまって、もう誰も「きれいねえ」「すごいねえ」とも言わない。花より団子ということか。



長野 6:00 - 関温泉 P6:45/6:58 - リフト終点 7:40 - オオブナ林 8:45 - 八方睨み 9:17
- 山頂 10:05/10:40 - 八方睨み 11:25 - リフト終点 12:40 - 関温泉 P13:50